

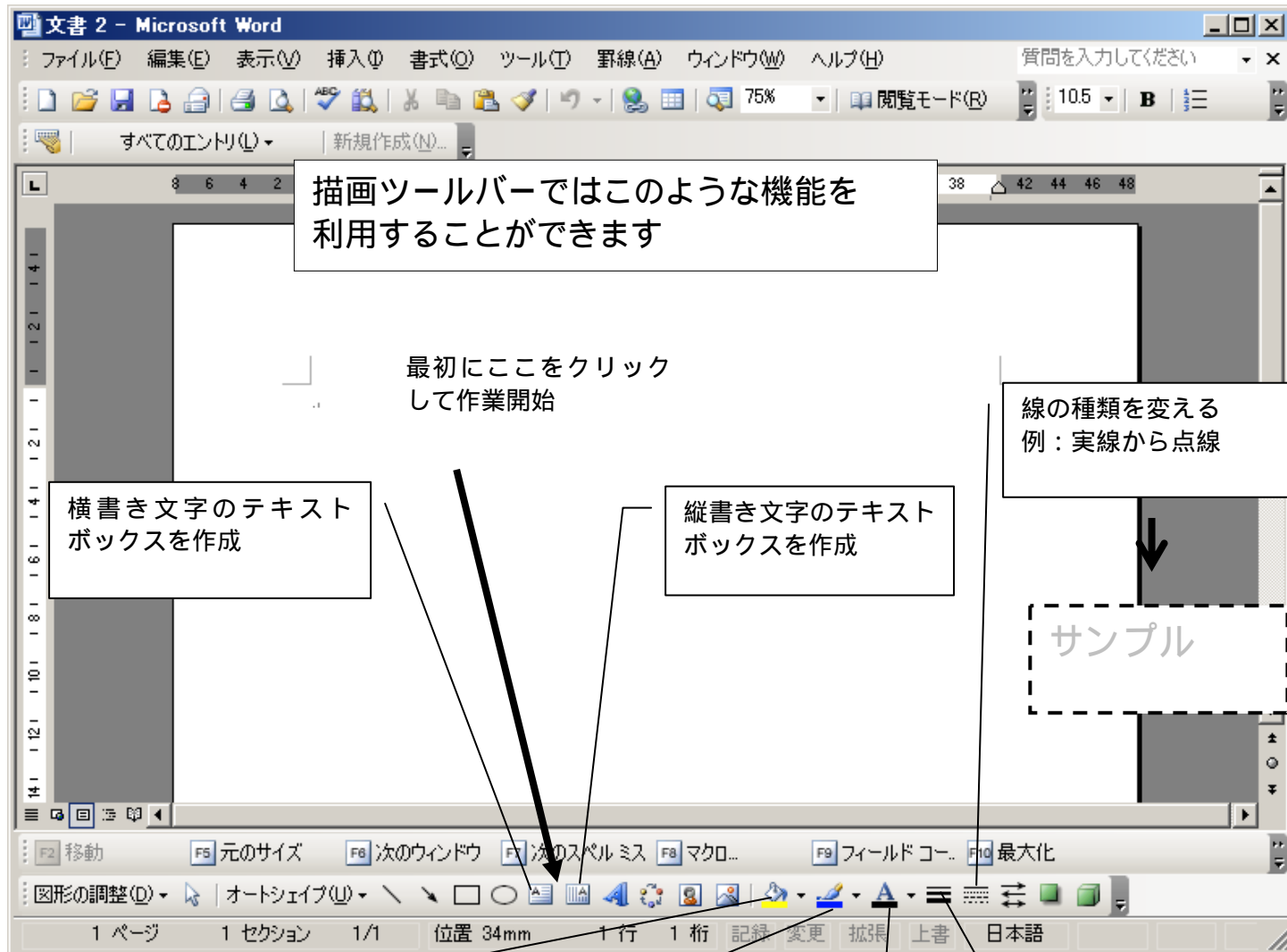
第1章

写真をレイアウトした文章

1.1 テキストボックスの作成

写真を組み込んだ文書や、複雑な段組を持つ文書を作成するにはテキストボックスを使います。テキストボックスに文章を挿入し、それを自由に配置してゆくことで文書を作っていきます。

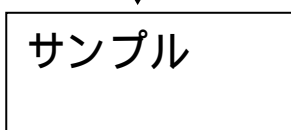
テキストボックスは[図形描画]ツールバーから作成します。まず、ツールバー上の7つのアイコンの役割を覚えましょう。テキストボックスを作るアイコンを最初にクリックして、文字を入れる箱を作るのが一番最初の作業です。縦書きにするか横書きにするかを決めて、文字を入れる外枠を作ります。



テキストボックスの背景を塗りつぶす



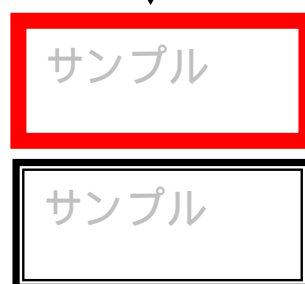
枠線の色を変える

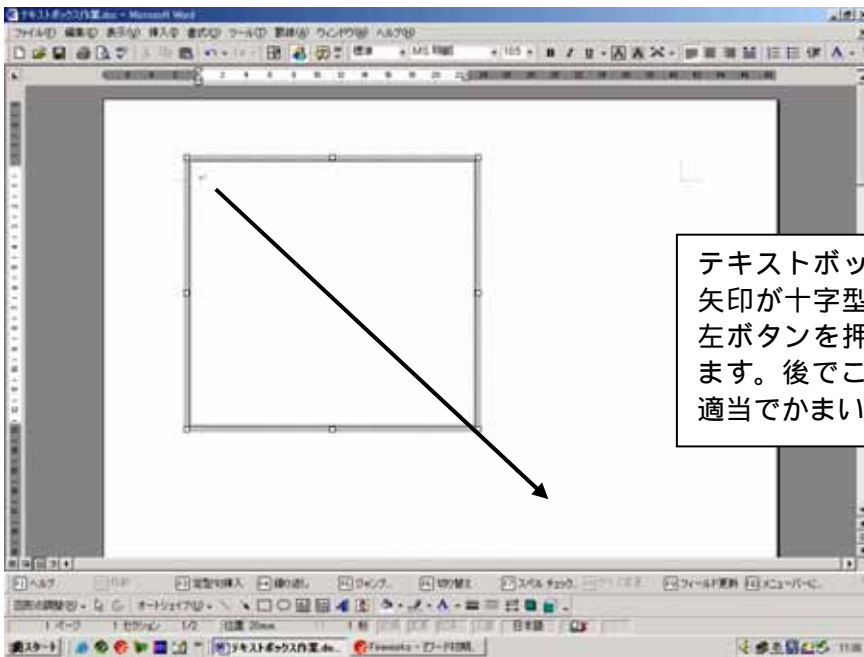


文字の色を変える

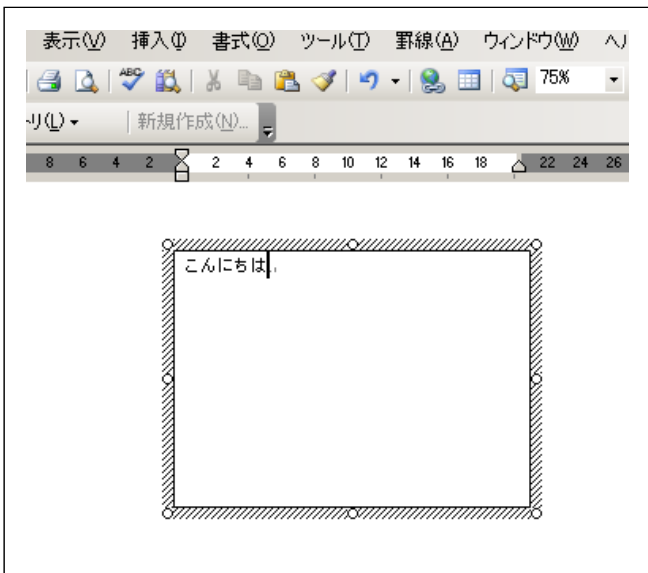


枠線の太さを変える





テキストボックスのアイコンをクリックするとマウスの矢印が十字型に変わりますので左肩から右下隅の方向に左ボタンを押したまま好きな大きさになるまで移動させます。後でこのサイズは自由に変更ができるので最初は適当でかまいません。



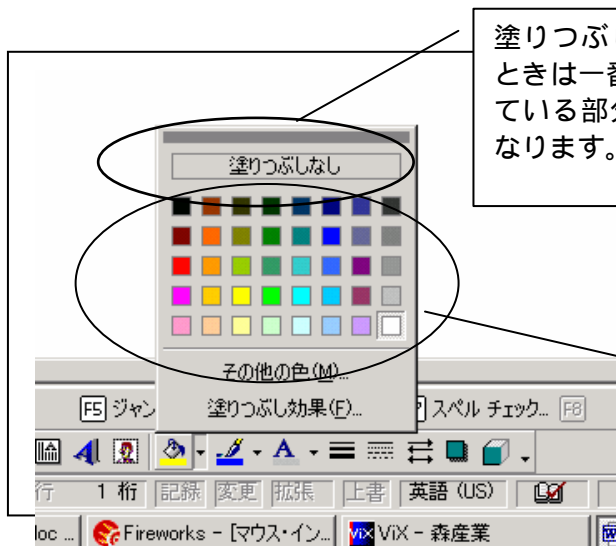
カーソルがIの形になっていて枠内で点滅します。この状態ならいつでも文字入力が可能ですので、任意の文書を入力してください。

テキストボックスは、移動したり、拡大縮小したりすることができます。

枠の白丸の部分にマウスカーソルをおくとカーソルが ←→ のようになります。この状態でドラッグをすれば、テキストボックスの大きさを変えられます。その他の枠部分にカーソルを置くと ↑↓ のようになります。この状態でドラッグすれば移動することができます。

テキストボックス内の塗りつぶしや文字の色を変えたりするのは、前頁のツールバーの説明を見てください。

色を指定するときは、色指定ウィンドウが出ます。カラーパレットから色を選ぶか、その他の色からあらゆる色を選択することができます。[塗りつぶし効果]では、いろいろなべた塗りではなく、グラデーションや、木や石といったテクスチャで色をつけることができます。

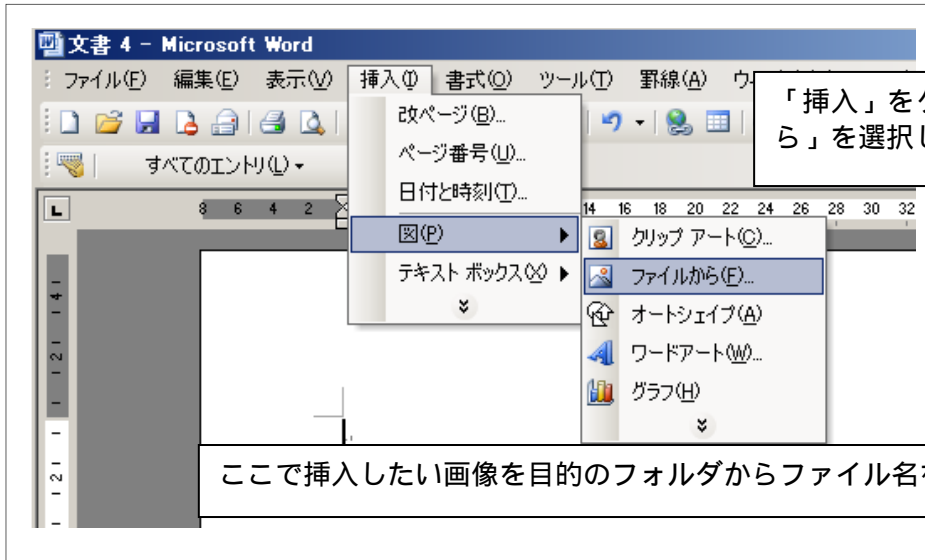


塗りつぶしや枠線の色をなしにするときは一番上の「……なし」となっている部分をクリックすると透明になります。

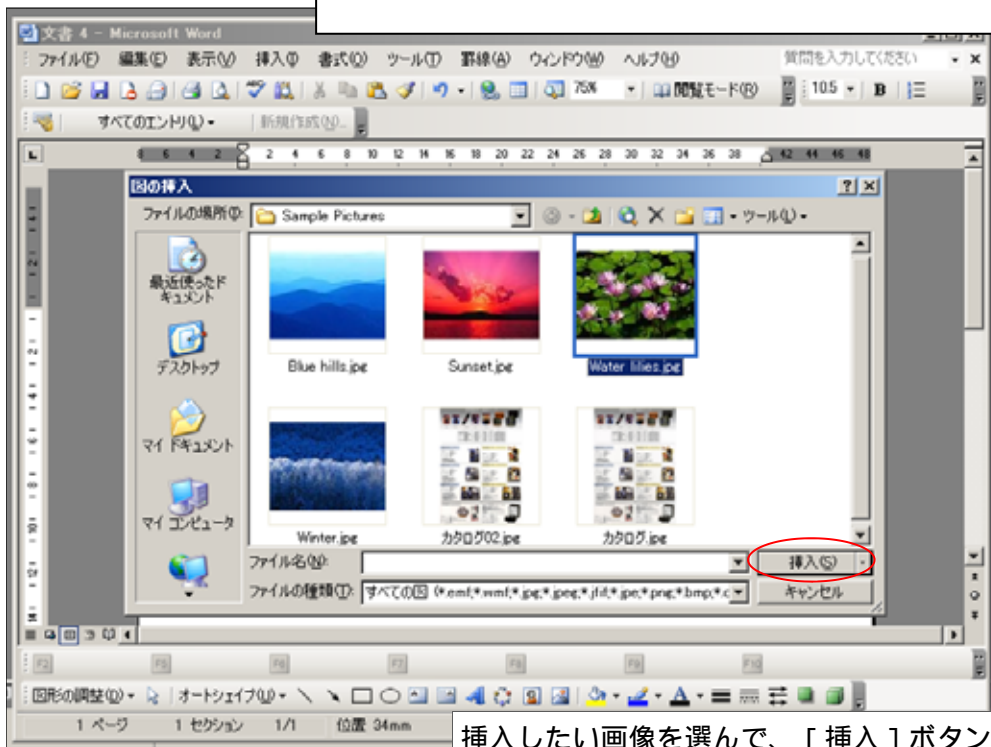
色をつける場合はこのカラーパレットから色を選ぶか、「その他の色」をクリックしてお好きな色を選んで

1.2

図・写真の挿入



選択したら「挿入」ボタンをクリックします。クリック後、テキストボックスに画像が挿入されます。画像の大きさによって少々時間がかかる場合があります。



挿入したい画像を選んで、[挿入]ボタンを押してください。